

「進取の精神」で歩んできた



創業者:沖牙太郎

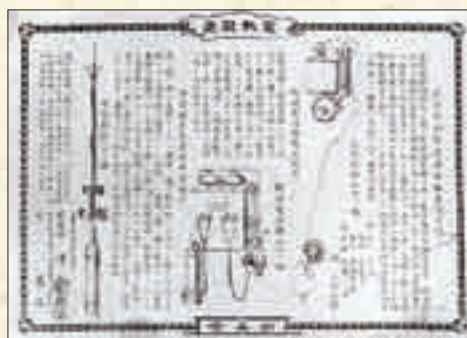
工部省の技手であった沖牙太郎が、官を辞してOKIの前身である明工舎を創立したのは、1881年(明治14年)。電話はもとより、電気に関する一般の関心も低かった当時において、明工舎はエンジン電話機と原理を同じくする「顕微音機」などの新製品を次々と開発し、「進取の精神」をもって社会インフラ

としての電話事業の拡大に貢献しました。

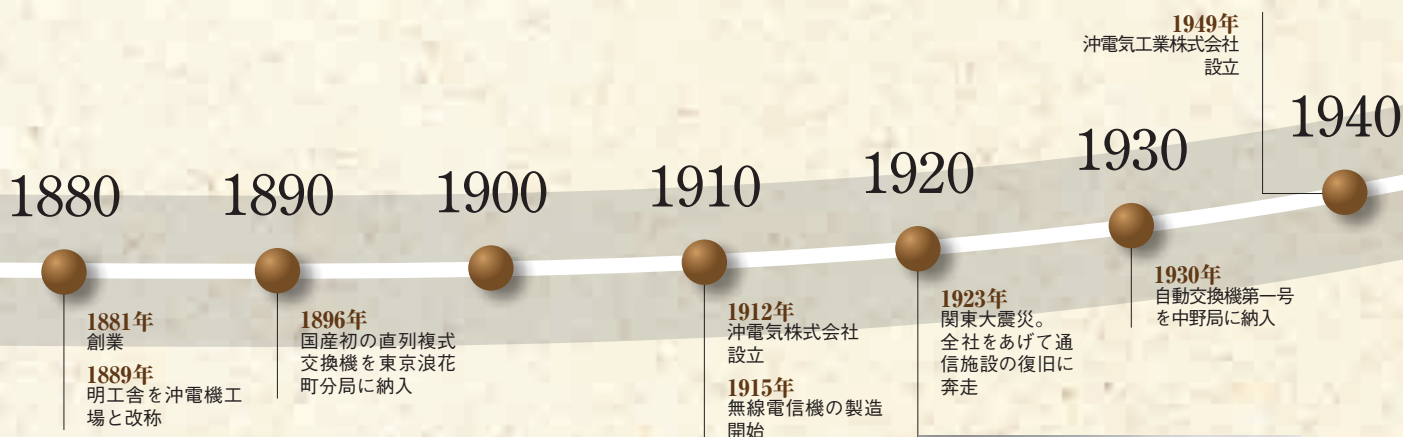
以来130年の歴史を通じ、OKIグループはさまざまな局面において、社会的課題の解決につながる技術開発や商品・サービスの提供に取り組んできました。また近年は経済のグ

ローバル化や情報化の進展など経営環境の変化に的確に対応するため、商品を創り出しお届けする過程におけるマネジメント体制の整備と強化も推進しています。

ここでは創業以来のあゆみを振り返るとともに、今日の「OKIグループのCSRのかたち」につながる、いくつかのエピソードをご紹介します。



「電鈴装置のお貸し渡し(レンタル)」や避雷針のバーゲンセールなどを広告した明工舎のポスター。創業時の苦労と工夫が偲ばれる。



Episode

1

関東大震災後の復旧に尽力

1923年9月1日の関東大震災により、東京・横浜の市街地を網羅しつつあった電話網は壊滅的な被害を受けました。OKIは、全社をあげて通信施設の復旧工事に奔走。公共施設の通信復旧のため、自社用電源装置までも提供したとの記録が残ります。この震災により災害時の無線通信の重要性が再認識され、ラジオ放送の実施が決定。また耐震性に優れ、有事にも復旧が容易な自動交換機の導入が進みました。



関東大震災で被災した京橋電話局

130年

Episode

4

製品含有化学物質管理の取り組み

OKIが、グリーン調達調査で得たデータを活かして製品含有化学物質情報システムを社内で構築し、運用を始めたのは1999年。社外のセミナーで紹介したところ、製品設計システムとの融合により製品全体に含まれる化学物質を集計し、法規制などへの適合性を検証・報告できる利便性の高さが評判を呼び、その後商品化に至りました。次々と施行される国内外の規制にOKI自身が対応し、システムの高度化を進めています。

2010

2010年
「国連グローバル・コンパクト」に参加

Episode

5

インターネット時代の到来と情報セキュリティへの取り組み

インターネットの利用が一気に拡大した90年代前半、OKIでも電子メールの導入などが進み、1995年にはウェブサイトを開設しました。これに伴いコンピュータウイルスの脅威などが高まり、組織的な情報セキュリティの取り組みが始まりました。保守サービスを担当するOKIカスタマードテックでは保守員が携行する手帳にいち早く感染拡大防止のための注意事項を記載し、お客様への感染被害防止に努めました。

2000

2001年
中国にATM生産会社を設立

2003年
製品含有化学物質情報システムを発売

2005年
「OKIグループ企業行動憲章」を制定

1990

1990年
LEDを光源に用いた日本語ページプリンタを発売

1994年
タイにプリンタ工場を建設

1995年
ウェブサイトを開設

1995年
「ISO14001」認証取得活動を開始

1996年
国内初のVoIPシステムを発売

1980

1982年
世界初の紙幣環流型ATMを発売

1970

1971年
D10デジタル局用交換機を電電公社に納入

1979年
本社環境監査を開始

1960

1961年
国産初のコアメモリを使用したコンピュータを発売

1950

1951年
株式を東京証券取引所に上場

1953年
テレタイプライタを発売



LEDを用いた日本語ページプリンタ

Episode

2

LEDへの取り組み

いま、低消費電力で注目されるLED。OKIがその研究に着手したのは、1966年のことです。2年後には国内初のLEDの大規模装置への実用化として、光学マーク読み取り装置を開発しました。OKIはこの技術にたって1977年から電電公社(当時)と、LEDを光源とする電子写真プリンタの共同研究を開始。1979年にはLEDアレイヘッドの開発に成功し、今日の小型・低消費電力を特長とするLEDプリンタの基礎を築きました。



OKI品川事業所(当時)での第1回集団献血

Episode

3

日本初の企業集団献血を実施

売血による輸血後肝炎が大きな社会問題となり、献血思想が芽生えはじめた1964年8月21日、OKIは一社員の提案により、日本初の集団献血を実施。マスコミにも取り上げられるなど、企業献血の促進に貢献しました。そして現在、献血による地域貢献活動は、OKIグループの海外拠点にも広がっています。このうちOKIプレジジョン・タイランドは、タイ赤十字社からの表彰、慢性的に輸血用血液が不足するタイ王国で1996年から継続的に献血活動を行っていることが評価され、2010年度にタイ赤十字社から表彰状を授与されました。



タイ赤十字社からの表彰